

【防災メモ】

～冬の地震対策～

北海道はこれまでも、地震により多くの被害が発生していますが、地震はいつ発生するかわかりません。冬に地震が発生した場合は、積雪や寒さなどにより、夏よりも被害が大きくなるといわれています。今回は、冬に地震が発生した場合の備えについて紹介します。

< 1. 雪に対する備え >

屋根に雪が多く積もっていると、地震の揺れによる屋根からの落雪の危険性が高くなります。また、急傾斜地では、なだれが発生しやすくなるなど、危険性が増えてきますので、地震発生時にはこれらに十分注意してください。

避難時は、積雪や凍結等の路面状況や吹雪などにより、避難所までの移動に時間がかかることがありますので、避難所の場所と経路について事前に確認をしておきましょう。



< 2. 火災に対する備え >

冬はストーブなどの暖房器具を使用していることが多いため、火災発生の危険性が高くなります。暖房器具のそばには、地震により転倒しやすい家具や燃えやすいものを置かないようにしましょう。

また、停電復旧時の火災にも注意が必要です。停電復旧時に再び動作する際に、ショートして発火することで火災が発生することがありますので、避難するときにはブレーカーを切ってから避難することが推奨されています。

< 3. 寒さへの備え >

地震によって電気やガスなどのライフラインがストップし、暖房器具が使えなくなることが考えられます。そのため、寒さをしのぐ準備が重要です。避難中やその後の避難生活でも必要となりますので、防寒着、毛布、使い捨てカイロなどを用意しておきましょう。

また、ポータブルの石油ストーブなどを使用する場合には、こまめに換気をして一酸化炭素中毒にならないよう気をつけてください。

< 4. まとめ >

冬に発生する地震は、雪や火災などによる二次災害が発生しやすくなります。また、積雪や降雪により、救助活動の遅れや物資輸送が困難になることが考えられます。冬の地震の備えは、安全確保や非常持出し品のほかに、雪や寒さに対する準備も必要です。

